幻の魚は生きていた②　中坊 徹次

【本論②】（⑧ ～ ⑭）

⑧ クニマスが西湖で見つかったのには、きっかけがあった。

⑨ （　　）の自宅に保管された文書から、ある記録が見つかる。

クニマスの卵が

[　　]

[　　]

に譲渡されていたことがわかった。

しかし、田沢湖周辺に住む人々が、クニマスを探すも見つからない。

⑩ 二〇一〇年三月　筆者の研究室に西湖で捕れたというマスが届く

⇨

このマスは、（　　）なのか（　　）なのか検証することになった。

上：ヒメマス
下：クニマス

⑪ マスの検証

届けられたマス →（　　）の状態。捕れたのは（　　）

捕れた所は、水深（　）～（　）ｍの湖底

ヒメマス → 産卵は（　　）で三月に産卵しない。

産卵は、水深（　）～（　）ｍの所

⑫ クニマス →産卵は（　）から（　　）が盛んである

産卵は、水深（　）～（　）ｍの所

⑬ これだけではクニマスとは言えない

クニマスだけがもつ（　　）を探すと・・・

⇨

（　　）と（　　）にクニマスだけに見られる特徴発見！

⑭ なぜ、クニマスは西湖で生きることができたのだろう？

田沢湖 → 四二三・四　ｍ
西湖 → 七十一・七　ｍ

なぜ浅い西湖で生きられた？

★ 田沢湖と西湖の共通点

[　　]